

(8) 行政系施設

①現状と課題

<施設概要>

No	施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	運営形態	配置形態	防災拠点	耐震化
1	市役所	1	14	9,909.77	1974～ 2015	41～0	直営	併設施設	指定避難所(緊急避難 場所を兼ねる)	新耐震/ 実施済
2	市役所旧平田庁舎本館	1	1	1,782.72	1966	49	直営	単独施設	-	未実施
3	市役所旧平田庁舎東館	1	2	1,189.93	1966～ 1991	49～24	直営	併設施設	-	未実施/ 新耐震
4	市役所旧南濃庁舎	1	5	2,680.69	1961～ 1990	54～25	直営	併設施設	-	未実施/ 新耐震
5	市営バス車庫	1	1	295.34	1992	23		単独施設	-	新耐震
6	旧学校給食センター	1	2	1,429.03	1981	34	直営	単独施設	-	未実施/ 新耐震
7	第5投票所(南濃町山崎)	1	1	59.62	1983	32	直営	単独施設	-	新耐震
8	防災分庁舎	1	2	1,020.07	1989	26	直営	併設施設	市役所、地域防災セン ターが使用不可の際に 災害対策本部として使用	新耐震
9	鹿野地区コミュニティ防災セン ター	1	1	308.85	1984	31	指定管理	複合施設	-	新耐震
10	地域防災センター	1	1	619.05	2003	12	直営	単独施設	市役所使用不可時の 災害対策本部	新耐震
11	南濃中部防災コミュニティセン ター	1	1	418.20	2005	10	直営	単独施設	-	新耐震
12	藤沢防災倉庫	1	1	487.42	1995	20	直営	単独施設	-	新耐震
13	津屋コンテナ防災倉庫	1	1	14.00	-	-	直営	単独施設	-	-
14	福江コンテナ防災倉庫	1	1	20.00	-	-	直営	単独施設	-	-
15	消防本部・消防署	1	3	1,931.18	1973	42	直営	単独施設	-	実施済
15	消防署南濃分署	1	1	277.12	2002	13	直営	単独施設	-	新耐震
17	消防署平田分署	1	2	170.40	2009	6	直営	複合施設	-	新耐震
	消防庫合計	51	53	1,905.79	1970～ 2015	45～0	直営	単独施設 (一部複合)	-	
	水防倉庫合計	35	35	1,590.37	1962～ 2009	53～6	直営	単独施設	-	
	排水機場合計	2	2	454.00	1999	16	直営	単独施設	-	新耐震
	合計	105	130	26,563.55						

- ・行政系施設は 105 施設あります。なお、消防施設関連として「消防庫」が 51 施設、「水防倉庫」が 35 施設あります。

(庁舎等)

- ・「市役所」のうち旧耐震施設の棟は耐震改修実施済であり、その他の棟は新耐震施設です。また、「市役所」は避難所に指定されています。
- ・その他の庁舎においては経過年数が 50 年に及ぶ施設もあり、これら旧耐震施設の棟は耐震改修未実施です。今後、取り壊し・廃止等の検討が必要です。

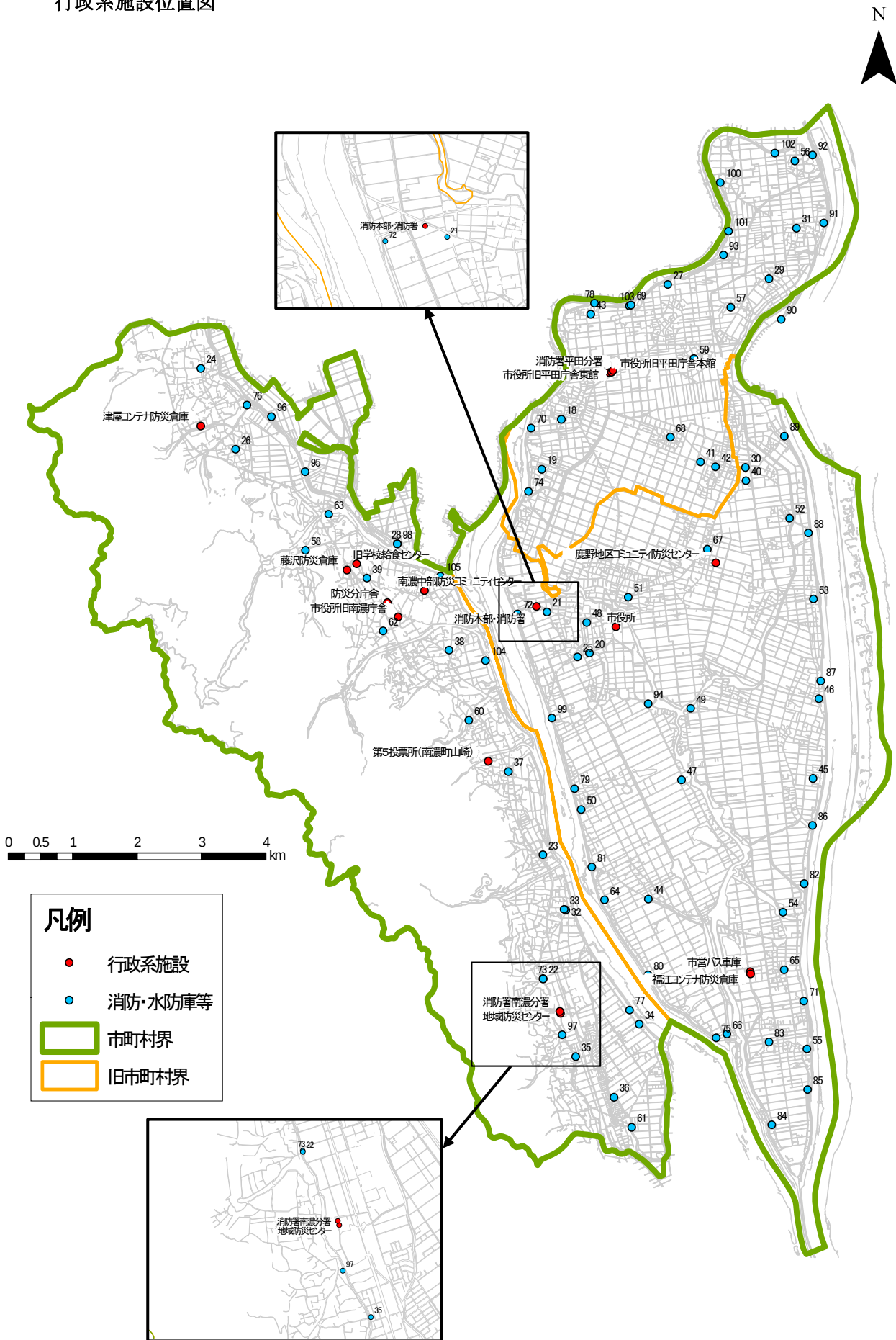
(防災施設)

- ・防災施設は一部を除き新耐震施設です。
- ・「鹿野地区コミュニティ防災センター」は指定管理者となっています。

(消防施設)

- ・「消防署・分署」は耐震改修実施済または新耐震施設となっています。
- ・「消防庫」「水防倉庫」は経過年数 30 年を超えるものも多くなっています。

行政系施設位置図



消防・水防庫等一覧

番号	施設名称	番号	施設名称
18	今尾西分団消防庫(今尾)	62	旧城山北分団消防庫(奥条)
19	今尾西分団消防庫(土倉)	63	城山北分団消防庫(徳田)
20	高須北分団消防庫(馬目町)	64	西江分団消防庫
21	高須北分団消防庫(西町)	65	大江分団消防庫(古中島)
22	石津北分団消防庫(吉田)	66	旧西江分団消防庫(万寿新田)
23	石津北分団消防庫(安江)	67	旧吉里分団消防庫(鹿野)
24	下多度分団消防庫(津屋)	68	旧今尾東分団消防庫(高田)
25	高須南分団消防庫(東小島)	69	三郷水防倉庫
26	下多度分団消防庫(志津)	70	今尾水防倉庫
27	今尾東分団消防庫(三郷)・防災備蓄倉庫	71	角山水防倉庫
28	旧城山北分団消防庫(駒野新田)	72	福岡水防倉庫
29	旧海西分団消防庫(幡長)	73	吉田水防倉庫
30	旧吉里分団消防庫(松木)	74	脇野水防倉庫
31	海西分団消防庫	75	万寿水防倉庫
32	石津北分団消防庫(太田1)	76	津屋水防倉庫
33	石津北分団消防庫(太田2)	77	田鶴水防倉庫
34	石津南分団消防庫(田鶴)	78	仏師川水防倉庫
35	石津西分団消防庫(松山)	79	稲山水防倉庫
36	石津西分団消防庫(松山グリーンハイム)	80	帆引水防倉庫
37	城山南分団消防庫(山崎)	81	安田水防倉庫
38	城山南分団消防庫(羽沢)	82	外浜水防倉庫
39	旧城山北分団消防庫(藤沢)	83	大樋水防倉庫
40	吉里分団消防庫	84	油島水防倉庫
41	今尾東分団消防庫(西島)・防災備蓄倉庫	85	金廻水防倉庫
42	旧今尾東分団消防庫(西島)	86	日原水防倉庫
43	旧今尾東分団消防庫(仏師川)	87	駒ヶ江水防倉庫
44	旧西江分団消防庫(沼新田)	88	成戸水防倉庫
45	東江分団消防庫(日原)	89	瀬古水防倉庫
46	東江分団消防庫(駒ヶ江)	90	西小藪水防倉庫
47	旧西江分団消防庫(江東)	91	野寺水防倉庫
48	高須南分団消防庫(上町)	92	勝賀水防倉庫
49	高須南分団消防庫(札野)	93	岡水防倉庫
50	旧西江分団消防庫(宮地)	94	本部水防倉庫
51	高須北分団消防庫(平原)	95	戸田水防倉庫
52	旧吉里分団消防庫(福一色)	96	志津新田水防倉庫
53	東江分団消防庫(大和田)	97	松山水防倉庫
54	大江分団消防庫(森下)	98	駒野新田水防倉庫
55	大江分団消防庫(金廻)	99	西小島水防倉庫
56	旧海西分団消防庫(勝賀)	100	須賀水防倉庫
57	旧海西分団消防庫(者結)	101	須賀水防倉庫
58	旧城山北分団消防庫(庭田)	102	勝賀水防倉庫
59	海西分団消防庫(蛇池)	103	仏師川水防倉庫
60	城山南分団消防庫(上野河戸)	104	岡谷排水機場
61	石津南分団消防庫(境)	105	駒野北海道排水機場

②今後の方針

- ・行政系施設は、施設の老朽度、地域性、市民ニーズ、必要性等を踏まえ、周辺の施設との集約化・多機能化、用途転用、廃止等を検討していきます。
- ・防災施設・消防施設についてはその必要性から存続を図っていくものとします。
- ・但し、「消防庫」「水防倉庫」について老朽化しているものは適宜更新していくものとします。

(9) 公営住宅

①現状と課題

<施設概要>

No	施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	運営形態	配置形態	防災拠点	耐震化
1	城跡住宅	1	2	449.00	1975	40	直営	併設施設	－	未実施
2	東大城住宅	1	2	675.36	1975	40	直営	併設施設	－	未実施
3	山の手住宅	1	2	318.28	1976	39	直営	併設施設	－	未実施
4	今尾団地	1	3	3,127.34	2003	12	直営	併設施設	－	新耐震
5	南濃第1市営住宅	1	1	2,680.00	2001	14	直営	単独施設	－	新耐震
6	南濃第2市営住宅	1	1	1,868.70	1982	33	直営	単独施設	－	新耐震
7	南濃第3市営住宅	1	1	1,177.80	1979	36	直営	単独施設	－	未実施
	合計	7	12	10,296.48						

- ・公営住宅は7施設12棟あります。「城跡住宅」、「東大城住宅」、「山の手住宅」は経過年数が40年前後と老朽化しています。
- ・「今尾団地」、「南濃第1市営住宅」、「南濃第2市営住宅」は新耐震施設です。

公営住宅位置図



<管理戸数・入居戸数>

No	施設	入居戸数(戸)			管理戸数(戸)			政策空家(戸)		
		H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26
1	城跡住宅	7	6	6	10	10	10	3	4	4
2	東大城住宅	8	8	8	14	14	14	6	6	6
3	山の手住宅	4	4	4	6	6	6	2	2	2
4	今尾団地	44	43	42	44	44	44	0	0	0
5	南濃第1市営住宅	31	32	32	32	32	32	0	0	0
6	南濃第2市営住宅	30	30	30	30	30	30	0	0	0
7	南濃第3市営住宅	19	18	16	30	30	30	11	12	14
	合計	143	141	138	166	166	166	22	24	26

- ・全体では管理戸数は166戸で、入居戸数は平成26年（2014）で138戸、政策空家は26戸となっています。
- ・「城跡住宅」、「東大城住宅」、「山の手住宅」、「南濃第3市営住宅」は政策空家があります。

②今後の方針

- ・老朽化している公営住宅は廃止・取り壊しを進めていきますが、今後、不足する戸数については、その確保を検討していくものとします。
- ・その他は基本的に維持修繕・長寿命化を図り、必要な戸数を維持していくものとします。

(10) 公園

①現状と課題

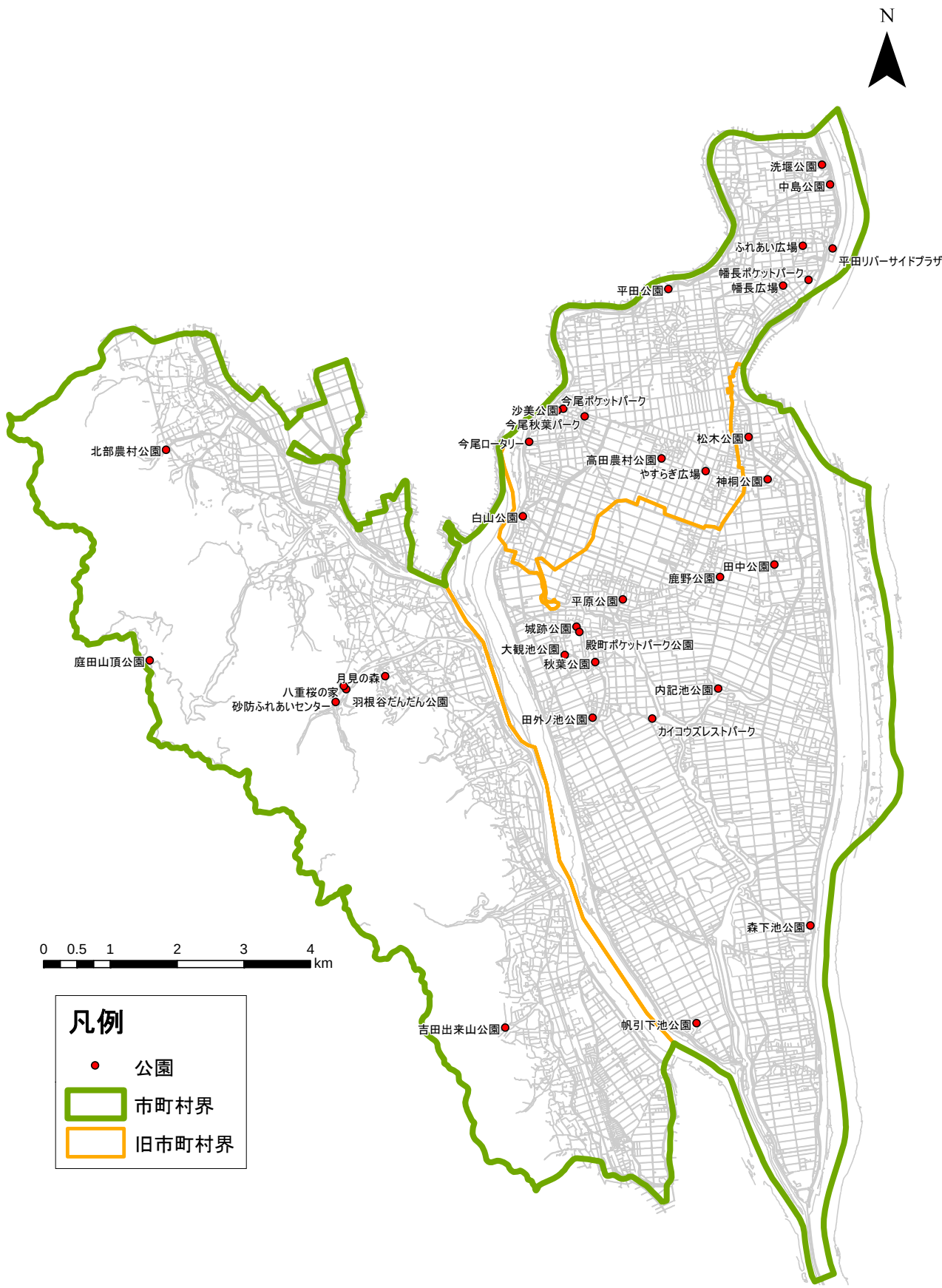
<施設概要>

No	施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	運営形態	配置形態	防災拠点	耐震化
1	平田公園	1	2	1,003.00	1996	19	指定管理	併設施設	-	新耐震
2	八重桜の家	1	1	74.80	1995	20	直営	単独施設	-	新耐震
3	砂防ふれあいセンター	1	1	251.20	1999	16	直営	単独施設	-	新耐震
4	羽根谷だんだん公園	1	1	8.64	不明		直営	単独施設	-	不明
5	月見の森	1	1	99.38	1996	19	直営	単独施設	-	新耐震
	その他公園等	30	2	不明	不明	不明	※	-	-	-
	合計	35	8	1,437.02						

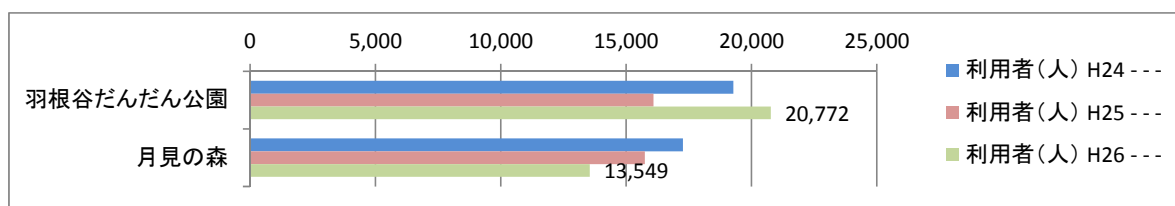
※:平田リバーサイドプラザは指定管理、その他の公園は直営

- ・公園は35施設あります。建築物（棟）は大部分が新耐震施設です。
- ・市の中央部から北部にかけて多く位置しています。
- ・運営形態は「平田公園」と「平田リバーサイドプラザ」が指定管理者となっています。

公園位置図



＜施設利用状況等＞



- ・施設利用者は「羽根谷だんだん公園」は年間2万人前後、「月見の森」は減少傾向にあり平成26年（2014）で約14,000人となっています。

②今後の方針

- ・公園については「平田公園」と「平田リバーサイドプラザ」が指定管理者となっていますが、その他の公園についても、経費の節減、管理運営の効率化とサービスの質の向上のため指定管理者制度を検討していきます。
- ・将来の人口動向を注視しつつ適正な規模・必要性を検討していきます。
- ・必要な施設は公園施設の長寿命化を検討していきます。
- ・公園の美化等住民参加による適切な公園の管理を検討していきます。

(1 1) 供給処理施設

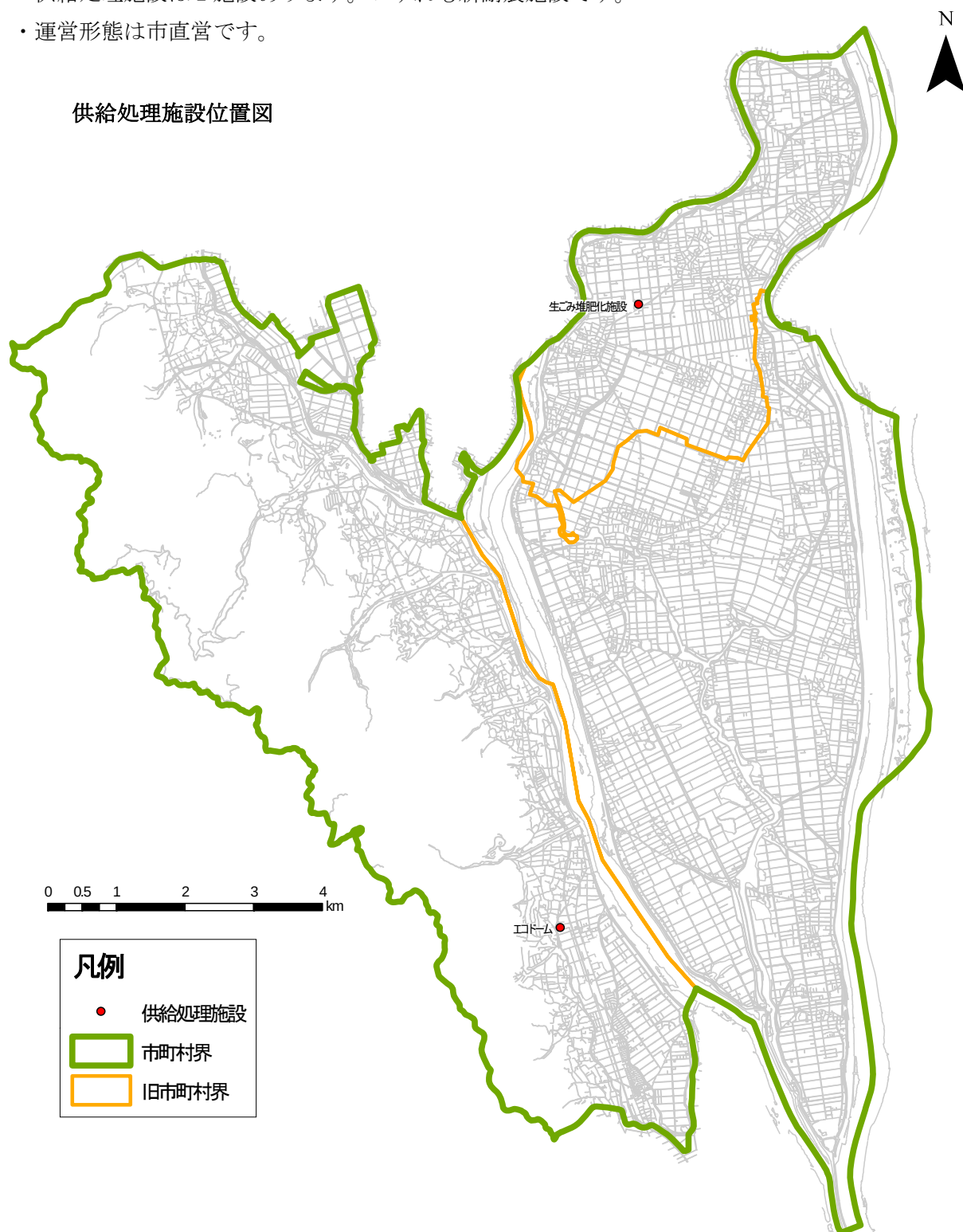
①現状と課題

<施設概要>

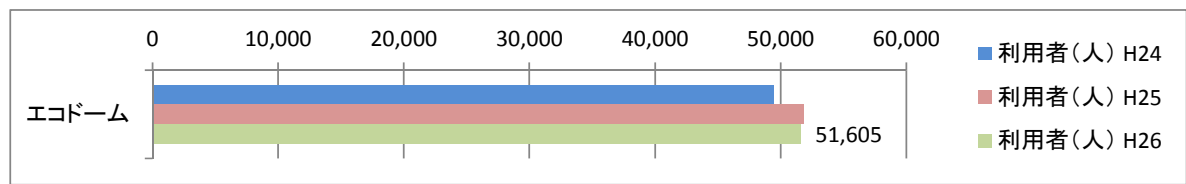
No	施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	運営形態	配置形態	防災拠点	耐震化
1	エコドーム	1	2	544.06	2008	7	直営	併設施設	-	新耐震
2	生ごみ堆肥化施設	1	1	105.31	2004	11	直営	単独施設	-	新耐震
	合計	2	3	649.37						

- ・供給処理施設は2施設あります。いずれも新耐震施設です。
- ・運営形態は市直営です。

供給処理施設位置図



＜施設利用状況等＞



- ・施設（エコドーム）の利用状況は平成 26 年（2014）で約 52,000 人となっており、微増傾向にあります。

②今後の方針

- ・生ごみ堆肥化施設については、施設整備後 12 年が経過しており、設備の老朽化が進んでいます。設備の維持費用が増大していることもあり、費用対効果の観点から今後の存続について慎重に検討を進めていきます。
- ・エコドームについては、循環型社会の推進の観点からも今後も拠点施設としての役割が期待されます。利用者数も微増傾向にありますが更なる利用促進を図るため、普及啓発に努めていきます。

(1 2) その他施設

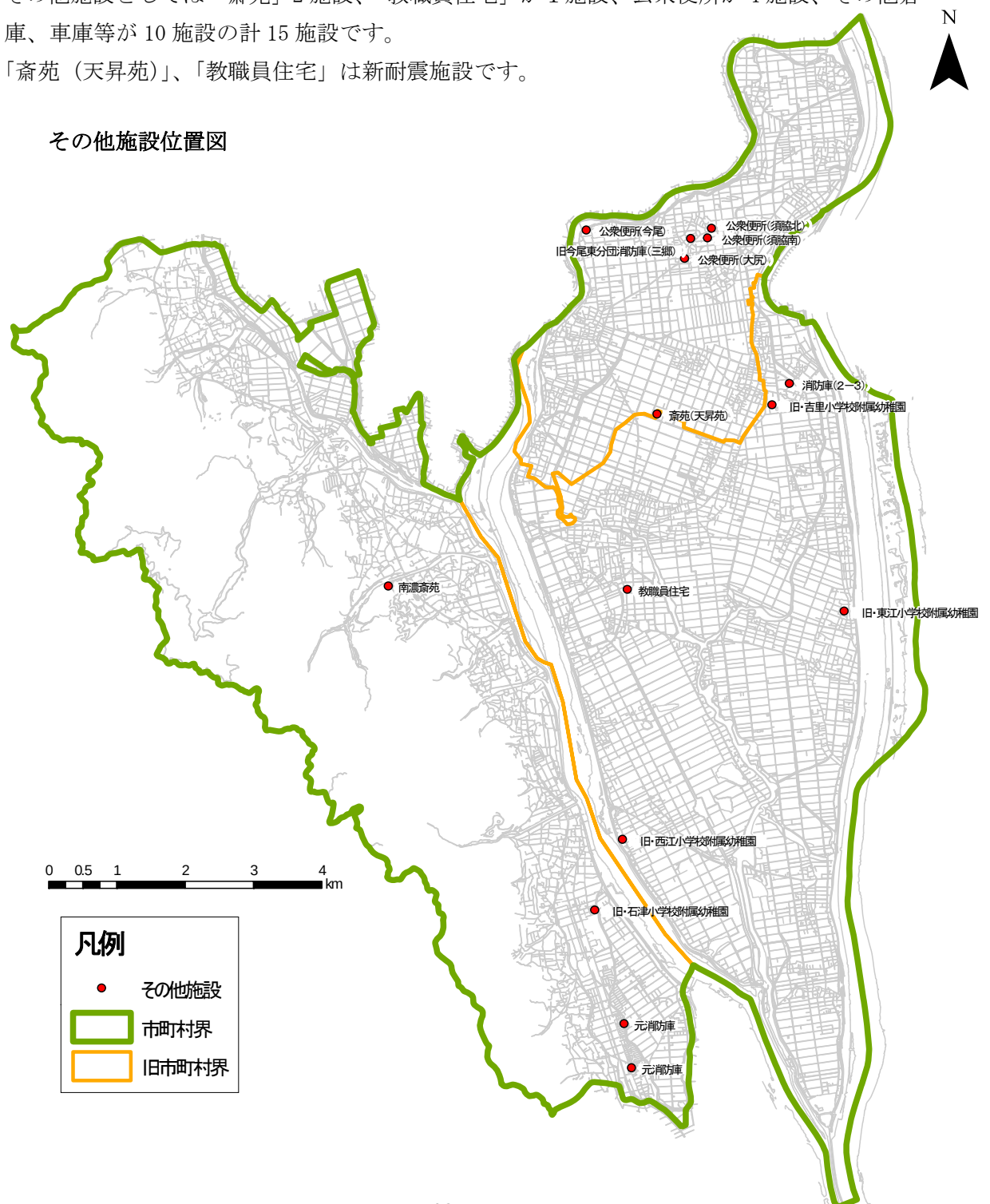
①現状と課題

<施設概要>

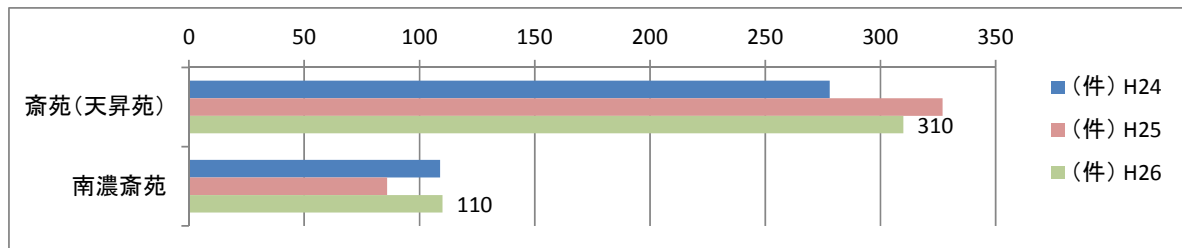
No	施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	運営形態	配置形態	防災拠点	耐震化
1	教職員住宅	1	1	596.63	1990	25	直営	単独施設	-	新耐震
2	斎苑(天昇苑)	1	1	2,282.02	1988	27	直営	単独施設	-	新耐震
3	南濃斎苑	1	1	824.60	1977	38	直営	単独施設	-	未実施
	公衆便所	4	4	220.46	1985～ 1999	30～16	直営	単独施設	-	新耐震
	その他施設(倉庫・車庫等)	8	8	2,147.36	1976～ 1998	39～17	直営	単独施設	-	未実施/ 新耐震
	合計	15	15	6,071.07						

- ・その他施設としては「斎苑」2施設、「教職員住宅」が1施設、公衆便所が4施設、その他倉庫、車庫等が10施設の計15施設です。
- ・「斎苑(天昇苑)」、「教職員住宅」は新耐震施設です。

その他施設位置図



＜施設利用状況等＞



- ・斎苑の火葬は「斎苑（天昇苑）」で300件前後（動物火葬除く）、「南濃斎苑」で100件前後となっています。

②今後の方針

- ・教職員住宅は基本的に存続を図っていくものとします。
- ・同種の施設は、施設の老朽度、地域性、市民ニーズ、必要性等を踏まえ、周辺の施設との集約化・多機能化、用途転用等を検討していきます。
- ・将来需要に見合った適正規模を確保していきます。

3-2 インフラ系施設

(1) 上水道施設

①現状と課題

<施設概要>

No	施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)	建築年度	経過年数	運営形態	配置形態	防災拠点	耐震化
	浄水場・配水池・水源地等	26	57	5,830.72	1962～2010	53～5	直営	単独施設 併設施設	-	新耐震/ 不要

・上水道施設としては浄水場・配水池・水源地等計 26 施設あります。大部分が新耐震施設です。

上水道施設位置図



②今後の方針

- ・上水道施設はその必要性等から基本的に存続を図っていくものとします。
- ・将来需要に見合った適正規模を確保していきます。
- ・施設や管路は計画的に更新を図っていきます。

(2) 下水道施設

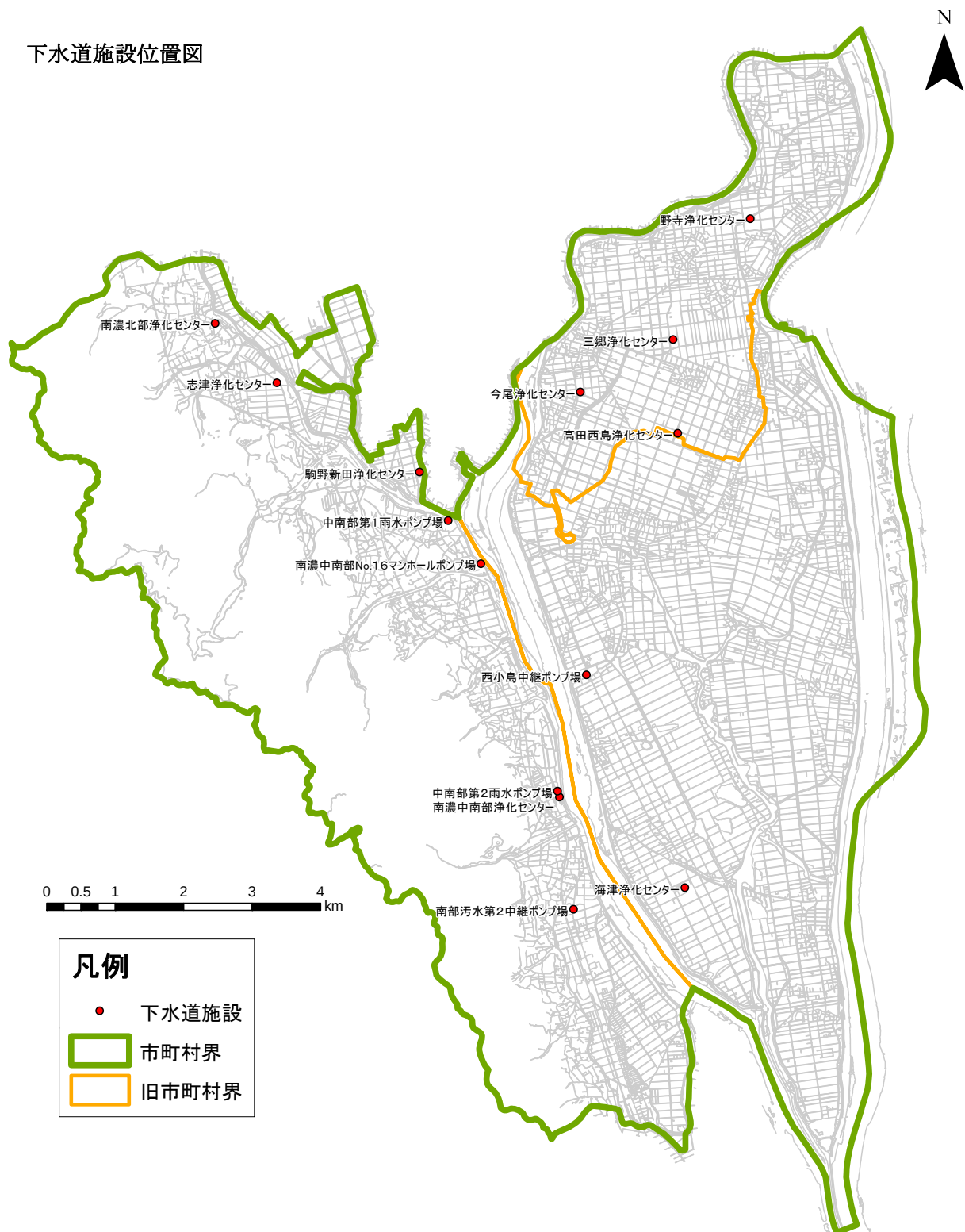
①現状と課題

<施設概要>

No	施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	運営形態	配置形態	防災拠点	耐震化
	浄化センター・ポンプ場等	14	28	8,510.59	1989～ 2009	26～6	直営	単独施設 併設施設	-	新耐震

- ・下水道施設としては浄化センター・ポンプ場等計14施設あります。すべて新耐震施設です。

下水道施設位置図



②今後の方針

- ・下水道施設はその必要性等から基本的に存続を図っていくものとします。
- ・施設や管路は計画的に更新し、長寿命化を図っていきます。